

感染症情報 3月6日～12日

府下小児科195医療機関(堺市18)から

①感染性胃腸炎	1, 167例(堺市	107例)
②RSウイルス感染症	101例(堺市	4例)
③溶連菌感染症	96例(堺市	12例)
④突発性発疹	25例(堺市	2例)
⑤咽頭結膜熱	15例(堺市	3例)

府下小児科298医療機関(堺市28)から

インフルエンザ	2, 465例(堺市	164例)
---------	------------	-------

報告数での順位である。前週比6.0%増の1,439件の報告数であった。感染性胃腸炎が府下で前週比5%増、堺市で前週119例→今回107例であった。RSウイルス感染症が府下で60%増、堺市は前週2例→今回4例であった。溶連菌感染症が府下で4%増、堺市で前週5例→今回12例であった。咽頭結膜熱が府下では前週比40%減、堺市で前回0例→今回3例であった。

インフルエンザが府下で前週から20%減。堺市で前週から37%減であった。定点あたり大阪府が10.39→8.27で、警報レベル終息基準値10を下回った。堺市は9.29→5.86であった。

指定感染症:

【大阪府の推移】(患者報告数:大阪府感染症情報センター、陽性率:大阪府)

報告数 2/20～2/26 +5,836例、累計2,811,334例に、
2/27～3/5 +4,576例、累計2,815,910例に、
3/6～3/12 +3,485例、累計2,819,395例になっていた。

陽性率 2/22～2/28 104,720検査中、4,611件陽性、陽性率4.4%、
3/1～3/7 98,538検査中、3,565件陽性、陽性率3.6%、
3/8～3/14 104,731検査中、2,854件陽性、陽性率2.7%

(12月21日に遡り、大阪府発表の陽性者数から自己検査陽性・登録者数を引き、陽性率=医療機関での陽性者数/医療機関での検査数(同一人物に抗原検査とPCR検査の重複はありうる)に変更した)

【堺市の推移】(9月12日の週から堺市発表の陽性者数を使い、これまでの累計数を計算している)

陽性者数 2/20～2/26 +513例、累計は228,591例であった。
2/27～3/5 +442例、累計は229,033例であった。
3/6～3/12 +379例、累計は229,412例であった。

陽性率 2/23～3/1 8,512検査中、435件陽性、陽性率5.1%、
3/2～3/8 8,229検査中、450件陽性、陽性率5.5%、
3/9～3/15 7,758検査中、342件陽性、陽性率4.4%

麻疹や風疹の報告はなかった。